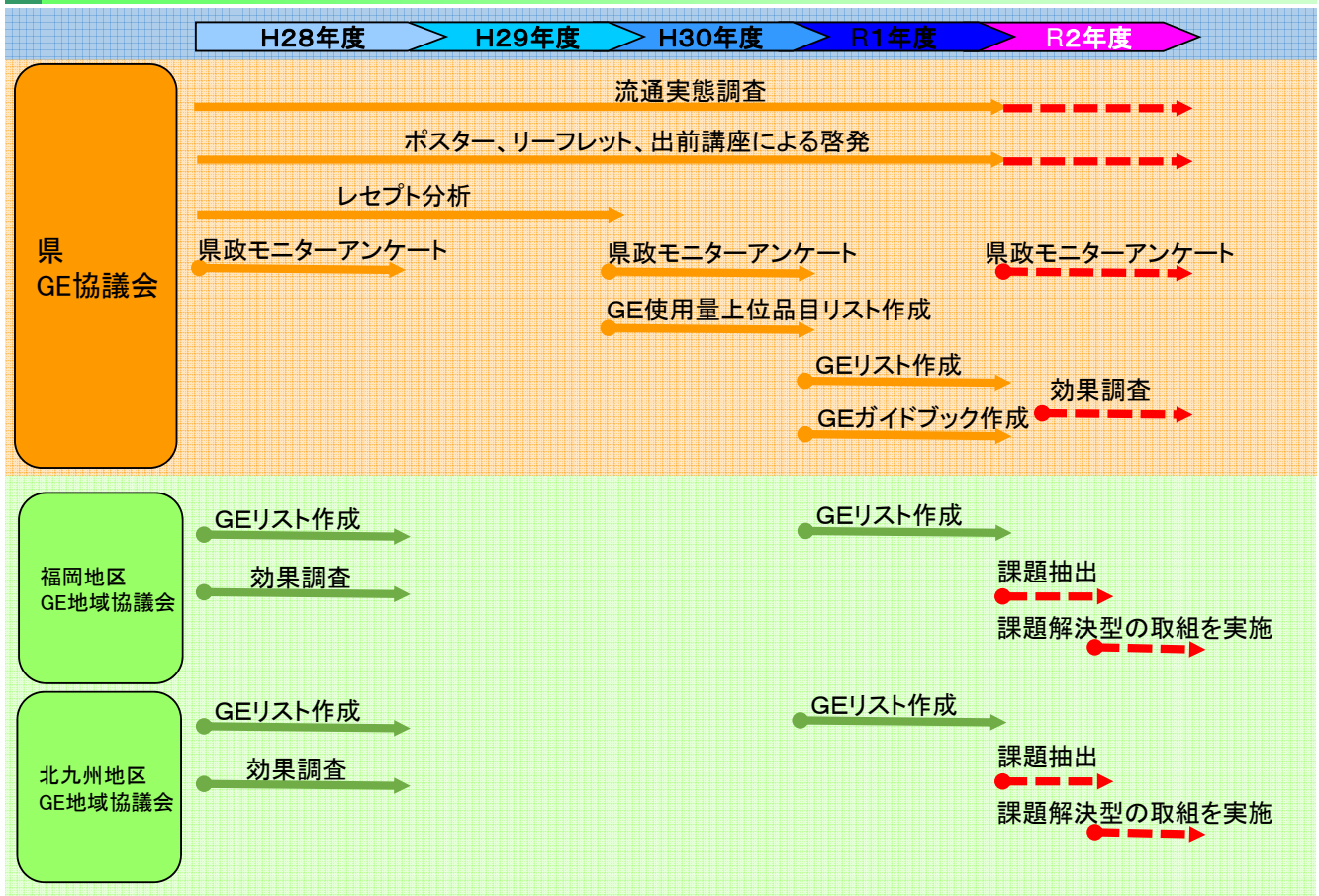


# 来年度の取組(案)について

## 県協議会及び地域協議会に係る主な取組み



# 来年度の取組(案)について

## 【市町村アンケート結果】

- 県内市町村の数量シェアに差が生じているが、アンケート・ヒアリング調査の結果では、市町村ごとの取組に大きな差は見受けられなかった。
- 市町村から県へ期待することは、医療機関や薬局への働きかけ。



## 【令和元年度の取組】

- ◆ 新たに、ジェネリック医薬品数量シェア(政府目標、全国、都道府県別、県内市町村別等)の状況、国民医療費の状況、ジェネリック医薬品への置換えによる医療費適正化効果、等を記載したジェネリック医薬品への置換えを促す資料を作成し、医療機関、薬局へ配布する。
- ◆ 最新の基幹病院ジェネリック医薬品採用品目リストを作成し、医療機関、薬局へ配布する(前回作成は平成26年度)。

## 【令和2年度の取組】

- 使用割合が80%に近づいてきており(市町村国保で最も高い町では83.9%)、県内一律の事業によって効果的な使用割合上昇を望むのは困難。
- 人口が多く福岡県平均に大きく影響する地区の使用割合を上昇させる必要がある。
- ただし、人口の多い地区も使用割合は増加している。



より効果的な取組を実施するため、医療機関及び薬局にジェネリック医薬品の置換え状況や置換え困難理由等を調査(課題抽出)

⇒ 困難理由の解消を図る課題解決型の取組の実施

※詳細は各地域協議会に諮って決定

## 市町村国保の後発医薬品使用割合(平成31年3月診療分)

